

生ごみ処理補助事業

[597]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0201	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	発生抑制の推進	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 生ごみ堆肥化等に取り組む市民活動団体	生ごみ処理機等購入に対する補助 尾張旭市生ごみ処理機等購入補助金交付要綱に基づき、生ごみ堆肥化容器、生ごみ発酵用密閉容器、電動生ごみ処理機を購入した市民に、購入金額の半分(限度額あり)を補助する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	生ごみ堆肥化等への支援 市内のボランティア団体(2団体)に、生ごみ堆肥化に関する業務を委託する。 【主な業務内容】 ・市内保育園における給食の調理くずの堆肥化と、園児との菜園を通じた共同農作業及び食育支援(保育課との協働事業) ・市民向け生ごみ減量講習会
	市民との協働により、生ごみを減らすための取り組みが幅広く行われている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	補助件数	件	23	30	80	33
	PRの種類数	種類	5	5	4	5
成果指標	生ごみを出さないように、また減らすように工夫をしている市民の割合	%	29.5	74.3	40	76.5
事業費 計			559	608	650	641
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	559	608	650

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) H30実績と比較すると、「生ごみを出さない、減らすよう工夫している市民割合」が2.2ポイント増加している。 (原因) H P や出前講座・講習会などのPRによる市民への周知が広がっていると考えられる。</p>
--------	---	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	生ごみ処理機等補助制度の見直しを行います。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
補助制度の見直しを行った結果、さらなる生ごみの減量化を図るため、これまでと同じ内容の補助金交付要綱を制定した。			

資源ごみ等処理事業

[598]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業 コード	51-0301	実施 計画	対象
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	02	資源化の推進	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業 目的 と 概要 (元 年度 分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市民が排出する資源ごみ 収集運搬・処理業者	市で収集する資源ごみの種類 空きびん、空きかん、ペットボトル、紙パック、乾電池、プラスチック製容器包装、古紙、古着類、スプレー缶類、小型家電、小型充電式電池 資源ごみの回収 <地域集積所> ・空きかん、空きびん、古紙、古着類：月2回 ・プラスチック製容器包装：週1回 ・スプレー缶類：月1回
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<拠点回収(市役所、公民館、集会所等)> ペットボトル、紙パック、乾電池 <主要公共施設(回収ボックス)> 小型家電、小型充電式電池 <リサイクル広場> 上記資源ごみのほか、食用廃油、白色トレイ、白色発泡スチロール、エコキャップ、スプレー缶、カセットボンベの持ち込み可
	資源ごみが適切に収集、中間処理(分別、圧縮、梱包等)され、リサイクルが進められている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動 指標	資源ごみの分別数	種	9	9	10	11	
成果 指標	資源回収量(市収集分)	t	2,681	2,657	3,500	2,656	
	資源化率	%	28.3	27.5	27.2	26.3	
指標・ 事業費	事業費 計		62,845	63,796	65,021	66,233	
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		22,231	21,184	19,001	20,461
	オ 一般	40,614	42,612	46,020	45,772		

R元年度実績の評価

成果 実績 評価	【活動指標の状況】 遅延あり	(状況) H30実績と比較し、資源回収量(市収集分)は1t、資源化率は1.2ポイント減少している。 (原因) 古紙の回収量が大きく減っている。近年、新聞や書籍離れによる紙類の流通量の減少が影響していると考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施 取組 方針 実績 評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	平成33年度からの、かん・びんの収集・運搬業務の民間委託化に向けた準備を進めます。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	令和3年度から、かん・びん収集運搬業務の民間委託を行う予定。		

資源ごみ回収団体活動奨励事業

[601]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0303	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	資源化の推進	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 回収活動団体 回収業者	市民で組織する営利を目的としない団体(子ども会、自治会等)が資源ごみを回収した量に応じて、市が奨励金を交付する。 回収品目 新聞紙・チラシ、雑誌、雑がみ、段ボール、アルミ缶、スチール缶、空きビン、古着・布類、牛乳パック
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	奨励金の額 資源ごみ1kgにつき3円(自主回収の場合は4円) 交付要件 ・資源回収団体として事前登録した団体が回収した資源ごみを、資源回収業者として登録した業者が回収する。 ・環境保全活動、地域貢献活動を実施する。
	団体回収を奨励することにより、資源ごみの回収量(率)が高まっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	奨励金支給額	千円	8,588	7,933	9,500	7,365	
	資源ごみ回収活動登録団体数	団体			77	77	
成果指標	資源ごみ回収量	kg	2,848,039	2,631,752	2,849,000	2,442,703	
	資源ごみ回収量に占める団体回収率	%	51.5	50.2	50	47.9	
事業費 計			8,588	7,933	8,770	7,365	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	8,588	7,933	8,770	7,365

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況) H30実績と比べ、回収量は2,442,703kg、資源ごみ回収量に占める団体回収率は2.3ポイント減少している。</p> <p>(原因) 古紙の回収量が大きく減っている。近年、新聞や書籍離れによる紙類の流通量の減少が影響していると考えられる。また、可燃ごみとして排出されている雑紙などの分別を推進する必要がある。</p>
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	雑がみを資源ごみとして分別するよう市民周知を推進します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
雑がみを資源ごみとして分別するよう広報、ごみの出し方、さんあ～る等で市民周知を行いました。			

塵芥収集事業

[602]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0501	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	ごみ収集処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市の収集員 ごみ収集事業者	尾張旭市一般廃棄物処理計画に基づき、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源ごみの収集・運搬を行う。 収集運搬 ・収集員等による市直営 ・民間事業者への業務委託(可燃ごみは市域の約7割、不燃ごみ、粗大ごみ、スプレー缶、古紙・古着及びプラスチック製容器包装は市内全域)処理 ・可燃、不燃、粗大ごみ 晴丘センター ・資源ごみ 中間処理場
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
市内で出されるごみが適正に収集・運搬されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	不適ごみ対応件数 (連絡により職員で回収した不適ごみの件数)	件	286	271	440	288
	粗大ごみ予約受付個数(26年度より指標変更) 予約受付業者報告より集計	個	8,120	9,090	9,000	9,381
成果指標	市で収集しているごみの量	トン	17,186	17,041	17,393	17,397
事業費 計			136,700	137,844	141,616	139,847
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他		6,455	7,569	6,812	7,887
	オ 一般		130,245	130,275	134,804	131,960

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) H30実績と比較し、市で収集するごみの量は2.1%低下(悪化)している。</p> <p>(原因) ごみの量は、資源ごみをも含んだ数値となっており、ほぼ横ばいで、市民、事業者との連携のもと、適切に分別され排出されているものと思われるが、大型連休の影響などで少し増えてしまったものと思われる。</p>
--------	---	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

尾張東部衛生組合負担金

[604]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0503	実施計画	対象
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	ごみ収集処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張東部衛生組合 瀬戸市 長久手市	尾張東部衛生組合の概要 瀬戸市、尾張旭市、長久手市で組織された一部事務組合で、廃棄物処理施設の建設及び維持管理並びにこれらに附帯する事務、北丘スポーツ公園の維持管理に関する事務を共同処理している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	市の業務 組合の運営にかかる負担金を支弁するほか、各種連絡調整や会議への出席等を行う。 ・組合議会 年4回 ・副市長会議・課長会議 年3回 ・その他実務担当者による広域化検討など
	負担金支出等により、尾張東部衛生組合の廃棄物処理施設が適切に維持管理されている	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	負担金額	千円	249,858	276,996	286,744	268,825	
	尾張東部衛生組合へのごみの搬入量	t			18,415	20,858	
指標・事業費	事業費 計						
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		249,858	276,996	286,744	268,825

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

清掃車両維持管理事業

[606]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0504	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	04	ごみ収集処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 清掃車両	<ul style="list-style-type: none"> 現在12台の車両(ディーゼル車11台・ガソリン車1台)で収集作業を行っており、車検や修繕を行い、これらの維持管理を行う。 車検時期の管理方法 車両内の運転席に車検更新時期を明記したラベルを貼付 事務所及び労務職員詰所の壁面に「清掃車両車検整備日程表」を掲出 労務職員の運転免許証の確認も毎月行う。 清掃車両の買換購入については、走行距離や収集作業員の安全性を考慮し、10年経過、10万Kmを基準とし、老朽化の程度を勘案し判断する。 また、策定したごみ収集運搬体制の将来計画に基づき、直営と民間委託の状況を踏まえ計画的に車両の更新及び減車を行う。また、購入する際には環境負荷が少なく燃費効率に優れた環境対応型車両を購入する。 <p>平成28年度：廃車、買換えなし 平成29年度：廃車、買換えなし 平成31年度：ダンプ(16号車) 廃車(売却)</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集運搬体制に併せた適切な車両台数を保有し車両の維持管理経費が削減されている。 保有する清掃車両が常に正常かつ安全に走行できるよう適切に管理されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	清掃車両の維持管理台数	台	13	12	12	12	
	清掃車両の修理件数(車検整備含む)	件	39	45	28	41	
成果指標							
事業費 計			6,813	7,862	7,219	7,094	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	6,813	7,862	7,219	7,094

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

環境事業センター維持管理事業

[607]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0505	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	ごみ収集処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	環境事業センター	<p><環境事業センター> 事務所(事務室・食堂・会議室等)、再利用品庫(リサイクル広場)、駐車場(公用車・来場者)、労務職員詰所、倉庫等</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>環境事業センター及び施設内で運営しているリサイクル広場を、良好な状態で機能させるために、センターの備品・施設の維持管理に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> センターの閉庁日及び夜間の警備を業務委託している。 センターの定期清掃・軽清掃・ガラス清掃を業務委託している。 センター事務所棟の床を清掃するため、モップを借上げている。 備品や施設に不備がある時は、修繕している。
	環境事業センターの運営に支障の無いよう、また施設来場者に不快な印象を与えないよう、施設が常に良好な状態に保たれている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	維持管理委託件数(借上含む)	件	6	6	6	6
	修繕件数	件	2	4	5	5
成果指標	施設維持管理上の重大な不具合・トラブル件数	件	0	0	0	0
事業費 計			2,971	2,971	3,127	3,032
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,971	2,971	3,127

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 成果指標については、H30年度実績、R1年度実績ともに0件のままで、変化はない。 (原因) 職員による適切な維持管理に必要な修繕や警備保障委託、消防設備保守点検、清掃委託等を行っており、重大な不都合やトラブルが発生しなかったものと思われる。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

環境事業センター移転整備事業

[1328]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0506	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	ごみ収集処理体制の整備	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	環境事業センター(リサイクル広場を含む。)	<環境事業センター> ・令和元年度6月補正予算で、予算を確保する。 ・新環境事業センター(仮設)の建物については、入札を行い借り上げる。(R1.10.3リース契約締結) ・外構工事を別途発注する(R2.3.16工事完了)。 ・工事完了後、移転する。 <リサイクル広場> ・令和2年度当初予算で関連事業費を計上する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
環境事業センター(仮設)及びリサイクル広場が建設され、移転が完了している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	移転整備工事件数	件			3	1	
	移転整備工事の進捗率	%			30	25	
成果指標							
事業費 計		千円			12,286	3,735	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般			12,286	3,735	

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	新規
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

クリーンシティ推進ポスター・標語募集事業

[596]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0101	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市内小学校4年生 市内保育園年長児	ポスター、標語等の募集 ごみの減量、リサイクル事業の啓発事業として、市内小学校4年生を対象にポスター、標語及びキャッチフレーズを募集する。 市長賞・市議会議長賞・市教育委員会教育長賞と入賞作品10点、キャッチフレーズ賞1点の計27点を選び、優秀作品を市役所ロビー等に展示し啓発する。 <スケジュール> 6月 作品募集の通知(各小学校宛) 10月 作品の募集締め切り・審査 12月~1月 表彰、作品展示
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	親子リサイクル教室 夏休みの時期に、親子連れを対象とした料理教室、ごみリサイクル施設見学を実施する。 保育園出前環境教室 保育園年長児を対象に、ごみの分別や資源化に関する教室を開催する。
	ごみの減量、リサイクル等について子どもたちの関心を高めるとともに、作品を展示することにより市民に啓発する。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	ポスター応募者数	人	847	587	750	639	
	標語応募者数	人	646	637	750	683	
成果指標	ポスターを提出した割合	%	98.5	72.2	90	78.8	
	標語を提出した割合	%	75.1	78.3	90	84.2	
事業費 計			98	90	102	96	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	98	90	102	96

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) H30実績と比較すると、ポスター応募者は6.6ポイント増加し、標語応募者は5.9ポイント増加している。 (原因) 学校運営の妨げにならない範囲で協力を依頼しており、夏休みの宿題の一環として行ってもらった結果であると考えられる。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	児童生徒がごみ減量とリサイクルの推進に取り組むことができるよう事業内容を検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
ポスターと標語の募集に加えて一般廃棄物(ごみ)処理基本計画のキャッチフレーズの募集を実施しました。			

リサイクル広場運営事業

[612]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0902	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民利用者	環境事業センター内において年末年始(12月29日~翌年1月3日)を除いて土・日曜日・祝日も含めて毎日開設している。(開設時間は、午前9時~午後4時)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみと食用廃油、白色トレイ・発砲スチロール、小型家電等を分別して、受け入れを行っている。 ・自転車や子ども用品のうち再利用可能なものを受領・展示し、希望者に無料で提供する。 ・リサイクル広場内で、「あげます情報、ください情報」を掲示(市のホームページも併せて情報提供) ・展示コーナーを設け、資源ごみがどのようにリサイクルされているのかわかるポスターやサンプルの展示、DVDの再生による周知を行う。 ・リサイクル広場の業務の一部をシルバー人材センターや障害者団体に委託し、高齢者や障害者の就労支援を行っている。 ・臨時職員(月~金曜日勤務1名)が、リユース品の整理、展示、提供事務を実施
	資源が正しく出されているとともにリサイクル・リユースが促進されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	開設日数	日	359	360	360	361
成果指標	リサイクル広場におけるリサイクル・リユース件数	件	40,347	37,145	35,000	30,183
	リサイクル広場に持ち込まれた資源ごみ量	kg	481,202	466,343	460,000	506,765
事業費 計			7,106	7,028	7,612	7,388
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	7,106	7,028	7,612

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況)リサイクル・リユース件数はH30実績とR1実績を比較すると18.7%の低下、持ち込まれた資源ごみ量は8.7%の向上となっており、目標値を達成している。</p> <p>(原因)新型コロナウイルス感染症対策のため3月4日から、リユース品の受け渡しを中止したことが、リサイクル・リユース件数の減少につながっている。</p>
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	リユース品の有償化について、引き続き検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	×
有償化は、現実的に難しいとの結論に至り、実施しませんでした。リユース品を有償化して、販売する場合は、県公安委員会に確認したところ「古物商」としての許可が必要であるとのことで、行政が運営することには馴染まないため断念するに至りました。			

一般廃棄物処理基本計画推進事業

[1218]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	51-0903	実施計画
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	一般廃棄物処理計画 廃棄物減量等推進審議会 循環型社会推進会議	<p>計画の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定により、市町村は一般廃棄物処理計画(基本計画、実施計画)を定めることが義務付けられている。 ・基本計画では3つの基本方針、11の基本施策、44の具体的な取り組みを掲げており、それらに基づきごみの適正処理を進めている。現計画期間は平成26年度から平成35年度までで、中間年次である令和元年度に計画の見直しを行った。 ・年度ごとに策定する実施計画では、年間ごみ排出量の見込みやごみ減量施策、ごみの収集・運搬・処理計画などについて公表している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>計画の推進体制</p> <p>市民や有識者等で構成される「廃棄物減量等推進審議会」と「循環型社会推進会議」との協働により、ごみの適正処理に向けた取り組みの推進及び計画の進行管理を行う。</p>
	一般廃棄物処理計画を定め、その計画に沿った事業が円滑に進められている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	市民への情報提供の回数	回	1	1	1	1
	廃棄物処理に対する取り組み項目数	個	44	43	42	44
成果指標	一般廃棄物処理基本計画目標達成率	%			0	0
事業費 計			3,964	481	400	192
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,964	481	400

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 昨年度、基本計画中間見直し版を策定し、平成30年度の現状値を踏まえ、令和5年度の数値目標を再設定した。対前年度実績数値がないため比較不可である。 (原因) 対前年度数値がなく、令和元年度の基準目標数値もないため、成果実績は令和5年度に行う。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	ごみ処理基本計画の中間見直しを行うとともに、次期ごみ処理基本計画の策定準備に着手します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	ごみ処理基本計画の中間見直しを行い、ホームページ掲載や主要公共施設へ資料の配架依頼を行った。		

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	99-0309	実施計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

平成21年度以降99-0404及び99-0405を合せて統合

<文書処理>
文書の收受 文書の発送

<職員管理>
臨時職員の雇用・給与等管理・時間外勤務・出張の集計・報告
職員互助会事務

<事業計画・報告>
予算・決算
EMS・行政評価等

<その他の事務処理>
財務会計処理、印刷製本(申請書等)

<物品管理>
かご等集積所用物品、ごみ収集作業用物品、地域清掃用物品、不法投棄防止物品、リサイクル広場用物品等

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			3,824	3,066	4,003	3,314
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,824	3,066	4,003

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 未設定</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	
--------	---	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

ごみ減量庶務事務

[1166]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業 コード	99-0310	実施 計画	
施策	01	資源循環型社会の形成	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要 (目的、手段)

事業 目的 と 概要 (元 年度 分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	ごみ減量係の庶務事業 課員	< 文書処理 > ...100時間 文書の收受 (60時間) 文書の発送 (20時間) 照会・依頼等の調査・報告 (30時間) < 事業計画・報告 > ...300時間 予算・決算 (100時間) 一般廃棄物処理事業調査 (200時間) < 財務会計処理 > ...100時間 < 印刷製本 > ...370時間 ごみ分別関係冊子作成 (210時間) ごみ分別チラシ作成 (20時間) 事業概 要作成 (110時間) ホームページ作成 (30時間) < 物品管理 (啓発物品等) > ...20時間 < 各種会議等に関する庶務事業 > ...50時間 合計 940時間
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
	ごみ減量係の庶務的な事務が正確かつ円 滑に進んでいる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動 指標						
成果 指標						
事業費 計			2,015	1,692	1,980	1,636
指 標 ・ 事 業 費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	364	519		
		オ 一般	1,651	1,173	1,980	1,636

R元年度実績の評価

成 果 実 績 評 価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R元年度実施取組方針の実績評価

実 施 取 組 方 針 実 績 評 価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価		
		実施状況	-